



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 株式会社エディオン 上場取引所 東 名
 コード番号 2730 URL https://www.edion.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長執行役員 (氏名) 久保 允誉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 小谷野 薫 TEL 06-6202-6048
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	382,629	△3.6	16,695	55.1	16,681	39.9	10,395	12.2
2020年3月期第2四半期	396,736	12.6	10,761	1.2	11,922	7.7	9,264	29.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 10,633百万円 (15.3%) 2020年3月期第2四半期 9,226百万円 (30.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	97.10	87.25
2020年3月期第2四半期	84.40	75.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	377,677	189,411	50.2	1,768.31
2020年3月期	350,024	180,400	51.5	1,685.50

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 189,411百万円 2020年3月期 180,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	18.00	—	16.00	34.00
2021年3月期	—	20.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	14.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	760,000	3.6	23,000	87.2	24,000	79.6	13,000	18.4	121.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	112,005,636株	2020年3月期	112,005,636株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	4,891,473株	2020年3月期	4,974,637株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	107,054,745株	2020年3月期2Q	109,768,298株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における家電小売業界は、新型コロナウイルス感染症の収束がまだ見通せない状況ではありますが、緩やかに経済活動を回復させつつあります。

当企業グループにおきましても、消毒・清掃の徹底、従業員のマスク着用、ソーシャルディスタンスを確保した接客など感染症対策を実施しながら営業を継続しております。

こうした中で、緊急事態宣言解除後から「新しい生活様式」を踏まえながら、より快適な「おうち時間」を過ごしたいというお客様の要望が高まっており、大画面テレビを中心とした映像家電商品やゲーム・玩具などの売上が順調に伸びました。

また、パソコンなど情報家電商品もテレワーク需要を背景に第1四半期連結会計期間から引き続き好調に推移いたしました。

エアコンや空気清浄機など季節家電商品につきましては、梅雨明けが遅れたものの概ね堅調に推移いたしました。

売上高全体では前年同四半期(2019年4月～9月)を下回りましたが、これは前年同四半期の売上高が消費税増税前の駆け込み需要により大幅に増加していたためであります。

今後も当企業グループではお客様と従業員の安全と健康を最優先させながら、充実した「おうち時間」や快適な「テレワーク環境」など、お客様の豊かな暮らしを提案・提供してまいります。

店舗展開につきましては、家電直営店として「エディオンJR芦屋駅店(兵庫県)」、「エディオン豊田四郷店(愛知県)」、「エディオンファニチャードーム岡崎大樹寺店(愛知県)」、「エディオン茨木藤の里店(大阪府)」、「エディオンららぽーと愛知東郷店(愛知県)」の5店舗を新設オープン、「エディオンシーモール下関店(山口県)」を移転オープンいたしました。非家電直営店は1店舗を閉鎖いたしました。また、フランチャイズ店舗は2店舗の純減少となりました。これにより当第2四半期連結会計期間末の店舗数はフランチャイズ店舗749店舗を含めて1,186店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,826億29百万円(前年同四半期比96.4%)と減少いたしました。

一方で、前年同四半期から広告宣伝費の圧縮や業務見直しなどを通じて、販売費及び一般管理費を大幅に削減させたことなどにより営業利益は166億95百万円(前年同四半期比155.1%)、経常利益は166億81百万円(前年同四半期比139.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は103億95百万円(前年同四半期比112.2%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産に関する分析

総資産は、前連結会計年度末と比較し276億52百万円増加し、3,776億77百万円となりました。これは新型コロナウイルス感染症蔓延によるリスクに備えるために現金及び預金や商品及び製品が増加したこと等により流動資産が301億89百万円増加し、また、売却や減価償却に伴い建物及び構築物や土地が減少したこと等により固定資産が25億36百万円減少したためであります。

負債は、前連結会計年度末と比較し186億42百万円増加し、1,882億65百万円となりました。これは商品在庫確保に伴い支払手形及び買掛金が増加したこと等により流動負債が199億96百万円増加し、また、転換社債型新株予約権付社債がプットオプション行使の繰上返済により減少したこと等により固定負債が13億53百万円減少したためであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較し90億10百万円増加し、1,894億11百万円となりました。これは主に剰余金の配当により17億12百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により103億95百万円増加したためであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末と比較し268億67百万円増加し、428億42百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、326億41百万円（前年同四半期に得られた資金は204億75百万円）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が155億99百万円、減価償却費が51億67百万円、たな卸資産の増加による資金の減少が51億円、仕入債務の増加による資金の増加が98億38百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、21億67百万円（前年同四半期に使用した資金は87億60百万円）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が26億68百万円、有形固定資産の売却による収入が18億50百万円、無形固定資産の取得による支出が13億21百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、36億5百万円（前年同四半期に使用した資金は88億84百万円）となりました。これは、長期借入れによる収入が2億90百万円、長期借入金の返済による支出が9億94百万円、転換社債の償還による支出が11億90百万円、配当金の支払額が15億76百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年11月9日付で公表いたしました「業績予想の修正および剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

当企業グループでは、新型コロナウイルス感染症による影響が第1四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日）まで継続し、その後緩やかに回復するとの仮定を置いて繰延税金資産の回収可能性の判断、のれん及び固定資産の減損テストの判定などの会計上の見積りを行っております。

新型コロナウイルス感染症自体の収束はいまだに見通すことはできませんが、国内の家庭用電化商品の販売を中心とした当企業グループの経営成績に限定すれば、現在の状況が継続されると仮定した上で大きなマイナスの影響は無いものと見込んでいます。

緊急事態宣言解除後から、実際に来店客数・売上は回復傾向にあり、現時点では上記見積りの変更は行っておりません。

当該見積りは現時点で入手可能な情報に基づいた見積りではありますが、新型コロナウイルス感染症による経済環境への影響については不確定要素が多く、上記の仮定に変更が生じた場合には、当企業グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,974	42,842
受取手形及び売掛金	33,666	33,104
商品及び製品	91,286	96,394
その他	12,427	11,199
貸倒引当金	△58	△55
流動資産合計	153,296	183,485
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,868	58,555
工具、器具及び備品(純額)	7,672	7,341
土地	60,612	58,637
リース資産(純額)	1,752	1,955
建設仮勘定	292	1,078
その他(純額)	692	623
有形固定資産合計	130,891	128,192
無形固定資産		
のれん	2,986	2,755
その他	7,756	7,900
無形固定資産合計	10,743	10,656
投資その他の資産		
投資有価証券	2,320	2,428
差入保証金	26,093	25,895
繰延税金資産	22,728	23,552
その他	4,257	3,771
貸倒引当金	△306	△305
投資その他の資産合計	55,093	55,342
固定資産合計	196,727	194,191
資産合計	350,024	377,677

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,434	44,273
短期借入金	70	70
1年内返済予定の長期借入金	3,106	3,191
リース債務	237	265
未払法人税等	895	6,912
未払消費税等	1,414	3,586
賞与引当金	5,453	5,934
ポイント引当金	11,055	12,447
その他	23,098	23,080
流動負債合計	79,766	99,762
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	15,117	13,917
長期借入金	38,700	37,850
リース債務	2,135	2,297
繰延税金負債	623	560
再評価に係る繰延税金負債	1,597	1,591
商品保証引当金	9,285	9,709
退職給付に係る負債	8,251	8,160
資産除去債務	8,842	9,153
その他	5,304	5,262
固定負債合計	89,856	88,502
負債合計	169,623	188,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,940	11,940
資本剰余金	84,945	84,951
利益剰余金	94,978	103,675
自己株式	△4,972	△4,889
株主資本合計	186,892	195,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△235	△91
土地再評価差額金	△4,894	△4,908
退職給付に係る調整累計額	△1,360	△1,266
その他の包括利益累計額合計	△6,491	△6,267
純資産合計	180,400	189,411
負債純資産合計	350,024	377,677

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	396,736	382,629
売上原価	280,041	267,294
売上総利益	116,695	115,334
販売費及び一般管理費	105,933	98,639
営業利益	10,761	16,695
営業外収益		
受取利息及び配当金	48	49
受取事務手数料	108	126
助成金収入	503	10
持分法による投資利益	174	—
その他	555	409
営業外収益合計	1,389	596
営業外費用		
支払利息	137	124
持分法による投資損失	—	99
寄付金	—	300
その他	91	86
営業外費用合計	228	610
経常利益	11,922	16,681
特別利益		
固定資産売却益	49	3
違約金収入	—	21
その他	0	0
特別利益合計	49	24
特別損失		
固定資産除却損	200	141
減損損失	—	256
賃貸借契約解約損	1	34
感染症関連損失	—	584
その他	129	89
特別損失合計	332	1,105
税金等調整前四半期純利益	11,639	15,599
法人税、住民税及び事業税	4,410	6,203
法人税等調整額	△2,034	△999
法人税等合計	2,375	5,204
四半期純利益	9,264	10,395
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,264	10,395

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	9,264	10,395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	143
退職給付に係る調整額	△38	94
その他の包括利益合計	△38	237
四半期包括利益	9,226	10,633
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,226	10,633
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,639	15,599
減価償却費	5,438	5,167
減損損失	—	256
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	163	481
受取利息及び受取配当金	△48	△49
支払利息	137	124
持分法による投資損益 (△は益)	△174	99
感染症関連損失	—	584
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,192	562
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,974	△5,100
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,060	9,838
前受金の増減額 (△は減少)	4,550	△531
その他	△1,685	5,839
小計	23,875	32,869
利息及び配当金の受取額	23	27
利息の支払額	△122	△111
寄付金の支払額	—	△300
感染症関連損失の支払額	—	△553
法人税等の還付額	154	1,410
法人税等の支払額	△3,455	△700
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,475	32,641
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,418	△2,668
有形固定資産の売却による収入	531	1,850
無形固定資産の取得による支出	△620	△1,321
その他	△1,253	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,760	△2,167
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000	—
長期借入れによる収入	—	290
長期借入金の返済による支出	△920	△994
転換社債の償還による支出	—	△1,190
自己株式の取得による支出	△4,996	△0
配当金の支払額	△1,843	△1,576
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△10	—
その他	△114	△134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,884	△3,605
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,830	26,867
現金及び現金同等物の期首残高	9,035	15,974
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,866	42,842

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。